

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	杜のつぐみ療育園 四郎丸園		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日は毎週イベントを行い、子ども達が楽しんで活動できる取り組みを行っていること。また、基本的に外出体験を多く取り入れて様々な体験ができるようにしていること。	子ども達が飽きないように毎週、毎月違うイベントを行っており、様々なイベントに参加できるように運営している。また、子ども達が見てわかりやすいようにイラストを用いたカレンダーを配布している。	現在、配布が月中に利用予定表と同時にカレンダーを配布しているが、月初に配布することで保護者様も予定を立てやすくなるため、月初配布の取り組みを行っていきたいと思う。
2	部屋の数が多く支援時のスペースの確保はしやすく、活動の切り替えとしてもスムーズに移行しやすいこと。	支援時に職員がそれぞれの部屋に必ず一人はつくようにしており、移動がある際には職員間で声掛けをし合い連携を図っている。	安全に支援を行うために部屋数を減らさず、部屋の配置換えを行っていきたくて考えております。部屋の配置を変えることで支援時の職員の配置の確保および支援時の導線がスムーズになる。
3	地域の周辺に駐車場付きの公園や体育館、レクリエーション施設等様々な遊ぶところが多いため、土曜日のイベントで使用するだけでなく、平日の活動の中にも取り入れることができること。	体育館活動や公園での活動は必ず平日にも行い、土曜日のイベントに参加できない児童も外出活動を体験できる体制を整えております。	外出だけでなく室内でも学習しながら楽しめる調理体験等の活動も多く取り入れていこうと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の強みあり弱みでもあることであるが、部屋のスペースは十分だが部屋の数が多いこと。 職員の支援時の位置が複数に分かれてしまうため連携が難しいことや支援時の目の数が分散してしまうこと。	部屋の数が多く職員がそれぞれの部屋に分かれてしまうことで一部屋の児童数に対しての職員の人数が部屋によって変わるため、支援の目が足りないと感じてしまう。	それぞれの部屋の位置を変えることを検討しており、部屋の配置によって支援時の職員の配置の分散を防ぐほかに導線の確保も行えるため部屋の位置を変える改善を候補に入れている。
2	お迎えに行く学校の数が多く時間帯によっては職員の手不足と感じる時が多々あることが弱みだと思う。	お迎えに行く学校や幼稚園、保育園の数が多くことや送迎の時間がかぶってしまうことが要因だと思う。	送迎コースの見直しや職員の配置数の見直しの工夫が必要。
3	職員が新しい方が多いため、知識や技術が足りない面があるため、知識や技術の向上ができる取り組みが必要であると思う。	職員の入れ替わりが多く、新しい職員が多いため事業所内のルールがあやふやな所があったり、わからないことがあっても周りに聞くことが難しいことがある。	事業所内での研修を取り組むことで知識向上を図ったり、技術面に関しては、経験の長い職員からのアドバイスや支援方法の伝授する機会を設ける。